

## 交野市子ども・子育て支援事業計画（貧困対策編）の見直し（案） パブリックコメント結果概要（案）

## 【計画の内容に係る意見】

	意見の内容	意見等に対する市の考え方
1	安倍政権のもとで格差の拡大と貧困の増大が進んできており、子どもの貧困対策は、非常に重要な課題となってきました。今回、市として子どもの貧困対策の計画をつくるということに大いに期待していました。しかし、計画案を一読させていただき、新たな事業計画がほとんどなく、失望・残念との思いを強く持ちました。	子どもの貧困は、平成 28 年に実施しました子どもの生活実態調査の結果からも、重要な課題と認識しています。そのため、市としても子どもの貧困対策を重点施策として位置づけ、本計画の中で、重点的に進めていくものや、効果的に継続・充実していくもの等を分類し、主要な事業として掲げています。
2	第 2 章・第 3 章は分析や基本的な考え方が述べられており、賛成できます。しかし、第 4 章の施策の展開になれば、いままでの継続が大半であり、新規事業がわずかであり、そのわずかな新規事業も相談活動が主となっています。具体的な貧困対策の立ち上げ、拡充の計画立案を望みます。	
3	具体的に、次のことに取り組むことを計画案に反映してください。  ①就学援助制度の認定基準の所得金額引き上げ ②給食費の無償化 ③放課後児童会の会費の引き下げ ④保育料の無料化 ⑤子ども医療費助成の対象年齢を 18 歳に引き上げ ⑥小学校区に 1 つの子ども食堂の立ち上げ ⑦生計援助資金貸付条件の緩和 ⑧奨学金制度の拡充	今後、子どもの貧困対策を推進する中で、本計画に掲載している事業だけに留まらず、必要に応じその都度、事業の見直し等を行い、ご提案頂いた事業も参考に子どもの貧困対策の充実に努めていきたいと考えています。